

ホスピタウン便り

発行責任者 ホスピタウン事務局
VOL 47 平成 18 年 10 月



《《《《 よく生き よく笑い よき死と出会う 》》》》 アルフォンス・デーケン先生インタビュー

平成 18 年 9 月 2 日（土）、上智大学名誉教授アルフォンス・デーケン先生のインタビュー取材をすることが出来ました。

デーケン先生は哲学者であり、49 年間日本にお住まいで、「心は日本人であり、自分が死んだら骨は日本に埋めたい」と言っておられました。真から日本を愛しておられる先生です。今回、先生とお会いするのは初めてでしたが、日野原重明先生からのご紹介もあったこともあり、暖かい微笑みをもって握手をしてくださり、本当にやさしいお人柄で流暢な日本語でお話をしてくださいました。

インタビューは、「死」についてお話を伺いました。日本では一般的に避けられている、そしてタブー視されているテーマでしたが、死を知ること、死を受け入れることによって、よりいっそう「よく生きる」「有意義な人生を生きる」ことの大切さを学ぶことができました。「死」や「宗教」についても、学校教育のなかで早くから始めることの大切さ、死を含めた苦しい人生の中であったとしても「にもかかわらず笑うこと」「ユーモアを忘れないこと」などを話されました。

また、「ジョーク」と「ユーモア」の違いについても話されました。ジョークは、頭で考えた言葉で、ユーモアは、心で考えたものであり、相手に対してやさしさを持ったもの、と説明されました。

日本でも「死」の教育「死の準備教育：デス エデュケーション」が広まることにより、一般市民の皆さんが死を受け入れることが今後の在宅ケア、在宅ホスピスの普及にもっとも大切であります。ドイツでは小中学校、高校を通して死、宗教の教育が行われているので在宅ホスピスはとても普及しているとのことでした。

デーケン先生が今後も日本で「よく生き よく笑い よき死と出会う」ことについて教育活動をされることを期待してインタビューを終わりました。

アルフォンス・デーケン先生の死生観の総集編は、最近著の「よく生き よく笑い よき死と出会う」新潮社：1,400 円（税別）です。

なお今回のアルフォンスデーケン先生とのインタビューの様子は中海テレビ放送にて、平成 18 年 9 月下旬に放映されました。（番組制作は、NPO 法人がいなネット：理事長 小田 貢です）



ホスピタウン代表
医療法人 真誠会
理事長 小田 貢

小規模多機能センター真誠会 「ふる里」開所

平成 18 年 8 月 21 日（月）、小規模多機能センター真誠会「ふる里」の開所式が行われました。

今回の美保中学校区の小規模多機能センター真誠会「ふる里」の規模は通所デイサービス 15 名、宿泊 6 名（6 室）で、地域交流スペース、地域夜間訪問介護からなるものです。

この施設の趣旨は、要介護者、認知症の方に住み慣れた地域での生活を 24 時間体制で支えるものです。通所のお世話をするスタッフと、宿泊のお世話をするスタッフが同じであることで、宿泊をする際の精神的混乱をなくすことが出来ると期待されています。

この小規模多機能センター真誠会「ふる里」は、和田校区外浜道路沿いに元農協の建物をリニューアルして建てられました。この周辺は、和田校区の中心的な場所に位置しており、近くにはスーパーマーケット、食堂、コンビニ、バス停もあり小規模多機能施設を利用する人、利用者のご家族、職員にとっても便利であり、利用者の社会性を保てる環境です。

小規模多機能センターはその施設の周辺地域との交流が特に大切であり、地域の活性化、交流を通して地域に貢献しなければなりません。今回の小規模多機能センターでは特に医療福祉に関する相談コーナー機能を持たせ、地区の医療福祉の向上に役立てたいと思います。また年間 4 回ぐらいを目処に医療福祉、その他社会的テーマを持った講演会を開く予定です。



「ふる里」のシンボル 二宮金次郎

小規模多機能センター真誠会「ふる里」のシンボルに二宮金次郎を選びました。

二宮金次郎は薪を背負って歩きながら本を読んでいる像で、だれもが知っている有名な人物です。

しかし、二宮金次郎の本当のすごさは、大人（といっても 19 歳ぐらいですが）になってからぐんぐんと力量を発揮し、関東一円約 600 余箇所の村の農業、経済を改革し、たくさんの村人を飢饉から救いました。そして村だけではなく藩の経済改革を行い、その能力を買われて最後には幕臣にもとりたてられたのです。二宮金次郎は 53 歳のときに「尊徳」と名乗りました。正式な呼び方は「たかのり」ですが、後世「そんとく」と呼ばれるのが一般的になったそうです。

その勤勉さ、努力、そして実行する姿は現代の私たちも学ぶことがたくさんあり、中でも勤労、分度（儉）、推譲を人々に勧めました。



金次郎像玄関

二宮金次郎の教え

勤労とは 徳に報いるために働くこと

分度とは 収入の範囲内で支出を定めること

推譲とは 勤労、分度をしてたまった物を将来のために残したり、人に及ぼしたりすること

また「積小為大」、「五常講」を人々に説きました。

このような金次郎の言葉は現代の私たちも肝に銘じておかなければならない理念だと思います。



ふる里玄関

ふる里は、60年70年前の静かな、そして平和な田舎に帰っていただけるような雰囲気になるように作りしました。

私たちは今あまりにも進歩し過ぎて、人との結びつきも希薄になりがちになり、心の拠り所を失いつつありました。ふる里が皆様の心のふる里、心の拠り所になり、昔のように誰もがどこからともなく集まって温かい人の輪ができる場所になることを願って作りしました。

また、このふる里の時代設定として、二宮金次郎の銅像が各学校に立てられていたころのものにしました。そしてここに現代にも通じる二宮金次郎の教えを再び学び、それを次世代にも伝えたいと思います。

このふる里を本当の心のふる里、本当の心の拠り所にするのは住民の皆様方です。

☆利用対象者☆

美保中学校区にお住まいの方で「要支援」、「要介護」認定を受けられた方。

その他の地区にお住まいの方もご利用可能です。

☆サービスの内容☆

- 1 送迎サービス
 - 2 お食事サービス
 - 3 入浴サービス
 - 4 レクリエーションサービス
 - 5 介護相談サービス
 - 6 宿泊サービス（ご家族の都合により緊急一時的にお泊りできます。）
 - 7 訪問サービス
- ※介護予防のリハビリも致します。

ふる里 地域交流スペース (ふるさとサロン)

地元でなじみの皆様が、お気軽にお茶を飲みに来ていただくスペースがあります。皆さんと共に語り合い、共に助け合っ
ていきましょう。



玄関から入ると民具が並んでいます



ホール

高齢者医療福祉相談



自動リフト



2階和室では泊まりができます



茶室から庭を望めます

真誠会セントラルクリニック 森本看護部長が副院長に就任



平成 18 年 8 月 1 日、森本靖子看護部長が真誠会セントラルクリニック副院長に就任しました。また森本看護部長は、教育担当看護・介護統括部長も兼任しております。

近年は、医療の世界も、介護の世界もチーム医療、チーム介護が中心です。そのチーム医療、介護を支える中心は女性スタッフです。真誠会でも女性職員は職員全体の約 75% ぐらいだと思います。そのような職場で女性スタッフの指導をしたり、女性スタッフの能力を開発したり、女性スタッフの意見に耳を傾げるためには女性のリーダーが必須だと思います。

なお真誠会セントラルクリニックでは約 10 年前にも一度看護師が副院長を務めたことがあり看護師の副院長就任は二度目です。能力があれば女性でもトップリーダーを勤めることができるということが真誠会の基本的な方針です。

真誠会 開院 18 周年記念



森本副院長より祝辞

真誠会 看護・介護統括部長
セントラルクリニック 副院長
森本 靖子

本日は、創業 18 周年、誠におめでとうございます。

小田理事長・専務が、ここ河崎の地に、保健と医療と福祉を一つのシステムとして、また、地域一体となったコミュニティー事業としての構想、すなわちホスピタウン構想を打ち出され、早 18 年が経ちました。

当時の世の中は、長寿社会に向けての再建時代が始まり、社会福祉士、介護福祉士、臨床工学技師などの新しい職種が誕生、職種間の連携が重要視されました。また、施設内重点から、地域への在宅ケアへ大きく重点を移してきた時代でもありました。

そのような中、理想郷を目指しての航海は、決して順風満帆ではなかったように思われます。しかし理事長の時代を先取りされる先見の明、トップとしてのゆるぎない方針と決断力のもとより、何よりもヒューマニズム（愛・人間愛）の精神と夢を追い求めて率先される姿勢、医療・介護は感動していただくためのアートである、そのような力強い精神文化の発展が、多くの職員の心の糧となり、ひいては業界屈指の事業体として成長してきたのではないかと思います。

この崇高な文化は、現在から未来へと継承される『がいなネット』のボランティア活動にも現れていると思います。そして今や広く地域の信頼は確実なものとなっています。

このような発展に伴って、真誠会において提供されるサービスも

さわやかな春風にそよぐ蓮華畑

可憐で美しい草花が緑肥として土となり、水・光・風と手を携えて

やがて秋の大地にたわわな実をもたらすような、そんな自然のハーモニー

さながらに発展してきたように感じます。

18
周年
おめ
で
ご
ざ
い
ま
す



祝！真誠会創立18周年

今、時代は量もさることながら、質の時代に大きく変換し、サービスの保証と改善をすることが当然の義務となりました。

私たち職員は、責任と主体性を育み、永遠に続くであろう真誠会の青春を、英知と結束力と、向上心をもって確かな足どりをふんでゆきたいと思っております。どうぞよろしくお導きくださいますようお願いいたします

18 周年本当におめでとうございます。

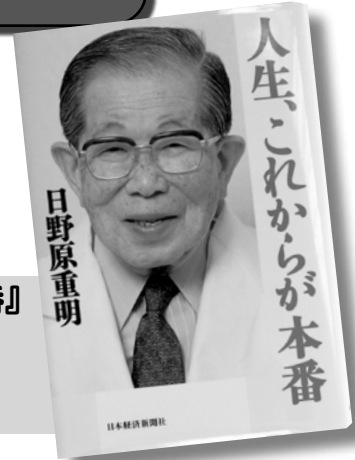
平成 18 年 9 月 9 日

医療法人真誠会 名誉理事長
日野原重明先生 (聖路加国際病院 理事長)
著書の紹介



『たった一度の人生だから』

発行日 : 2006 年 9 月 1 日
 出版社 : いのちのことば社
 価 格 : 1,260 円 (税込)



『人生、これからが本番』

出版社 : 日本経済新聞社
 発行日 : 2006 年 4 月
 価 格 : 1,470 円 (税込)



『生きるのが楽しくなる 15の習慣』

出版社 : 講談社
 発行日 : 2005 年 6 月
 価 格 : 648 円 (税込)



『十歳のきみへ - 九十五歳のわたしから』

出版社 : 富山房インターナショナル
 発行日 : 2006 年 4 月
 価 格 : 1,260 円 (税込)



『うつぶせ寝健康法』

出版社 : ベストセラーズ
 発行日 : 2005 年 12 月
 価 格 : 1,260 円 (税込)

**一年に一度の
 人間ドック、
 基本健診受診を
 お勧めします！**

◆人間ドックや健診の役割◆

- ・ 三大死亡原因 (がん、脳卒中、心臓病)
- ・ 生活習慣病
- ・ その他の病気

早期に発見し、早期の治療に結びつけることが大切です!!

健康だと思っていなくても、知らない間に病気がじわじわと進行していることもあります。人間ドックや健診は、大事にならないうちに病気の芽を早くみつけて、適切な治療を受けること、また、病気を予防すること、健康増進に役立てることにあります。病気の芽を早くにキャッチし、病気にならないように生活習慣を軌道修正する必要があります。人間ドックや健診は、定期的に受けてこそ価値があります。

からだの点検だけで終わることなく、検査結果を参考にして生活を見直し健康を維持するためのよい機会にしてください。私たちのからだは、常に変化しているのです!!





辻田耳鼻咽喉科



辻田耳鼻咽喉科
院長 辻田 哲朗

18 年目

もう早いもので開業して 18 年目になります。ということはまだ 30 台半ばで開業したことになります。その頃治療に通っていた子どもたちが知らぬまに大きくなって、結婚して親となり今度はその子どもを連れて中耳炎になったと言って通って来てくれる様になりました。時の流れは速いです。速すぎます。18 年前と比べてボクの頭の中は何にも変わっていません。まるで自分だけ変わらずに、周りがどんどん変わって行き、なんだか時代に取り残されてしまっているように感じる時があります。早い話が全然進歩してないことになります。

進歩がない代わりに、17 年もやってるといろんな人と知りあいになれました。去年で患者さんの登録は 5 万人を超えました。あまり昔を振り返らない方ですが、よくもこんなに患者さんを診て来たなあ、自分自身感心します。

日頃診察していて感じることがあります。それは、まったくの初対面の患者さんでも、ボクに親しく話しかけてくれる人がいます。診察室に入ってきて椅子に座るなり、すぐに自分の病状を話し始められます。もしかして前にどこかで会ったことがあるかなと思ってしまう位です。それがなぜだか分かりません。ボクには話しかけやすいのでしょうか？そんな時開業してよかったと思います。病院勤めの時と違い、患者さんとの距離がとても近く、よりストレートに気持ちが伝わってきます。

また、よく病気とはあまり関係のないことで、よくグチを言われます。ボクはフォローのしようがないので、黙って聞いているだけなのですが、どうもグチを聞いて貰えるだけですっきりするみたいです。そういえば、ボクはあまり人にはグチを言いません。言うのはウチの犬にだけです。散歩をしていて一人でぶつぶつ犬に向かってグチを言ってます。ウチの犬もいい迷惑ですね。

それともう一つ、最近の子どもはとても屈託が無くなりました。ボクが子どもの頃は、病院に行くだけでもストレスで、お医者さんの前ではろくに口もきけなかったものですが今の子どもたちは、けっこうあっけらかんとして治療を受けています。時代なんでしょうか、それともウチに来る時だけなんでしょうか？でもボク自身保育園に関わっていたせいか、子どもを診るのはとても楽しいです。病気が治って、「もう、来んでいいよ」と言うと、時々子どもが「ヤッター！」と言って診察室を出て行きます。その時はボクも心の中で「ヤッター！」と叫んでいます。

開業して 18 年目となり、沢山の患者さんも来てくれてそれはそれで不満はなくとてもうれしいのですが、唯一つの不満はなかなかまとまった休みが取れないことです。ドイツのサッカーワールド杯もチケットも取って絶対に行こうと思っていました。それも 2 泊 3 日で。ところが色々調べてみると、最低でも 3 泊 4 日でしか行けなくて、泣く泣く断念しました。よっぽど、エーイ、休みにして行っちゃえ。と思いましたが、4 日も休みにしたら患者さんに怒られるだろうと、中止にしました。人から頼りにされているうちが花です。時々やむなく休診にした時、後で患者さんが来られた時、「この前はせっかく来たのに休みだったが。」とよく怒られます。怒ってもらえるとまた、うれしい気持ちになってしまいます。

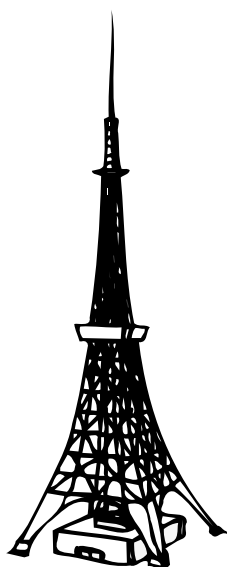
今回はネタがなくて、こんなことしか書けませんでした。これからも、患者さんに少しでも頼りにされ続けられるよう、ガンバります。

いえはら歯科



いえはら歯科
院長 家原 猛

東京タワー



近年しばしば東京に行く機会がある。昨年の7月は虎ノ門に宿泊した。日曜の早朝、霞ヶ関から国会議事堂を折り返し、桜田通りを東京タワーまでを歩いたことがある。少し距離はあったが、あの赤い高くそびえる東京タワーがビルの間から目に入ったらどうしても行ってみたくなった。説明するまでもなく高さ333m、昭和32年に完成したテレビ文化発祥の記念碑的大都会東京のシンボル。勝手だが、同じ時代を生きてきた共有感があって、憧れと同時に何か握手をしたくなるような親しみを感じた。先方はもちろんミスターG長嶋茂雄と同じくらいの大スターである。よくありがちな1ファンの大きな勘違いなのだろうが、きっとその大きな体とところで受け止めてくれるに違いない。と、期待させる。愛してやまないテレビ文化のシンボルは本当に大きかった。まことに、見上げたものである。ただ、時間が早かったために展望台に上がれなかったのが残念であった。でも、いつかきっと、と思っている。

東京タワーとほぼ同じ年の小生は昭和52年から北九州市小倉で学生生活を送った、そして後、縁あって筑豊出身の彼女と所帯を持つことになる。

この二つの土地を舞台に小説は始まる。

昨年から話題になっている、

リリー・フランキーの「東京タワー」—オカンとボクと、時々、オトン—

戦後から経済が成長していく昭和の時代、家族が核化する以前の多くの親戚がここを通わせ明るく生活していた。少しうまくいかない家族関係の中で愛情溢れる母親とひとり息子の人生が綴られる。幼少から中学までを小倉と筑豊で過ごす。小倉弁と筑豊弁が私にはとても懐かしく、人情深く息子に献身的なオカンの姿は自分の母親の姿とだぶる。別府の美術高校時代を経て、大学から上京する。決して模範生ではない学生生活、才能の表出にも苦労する。社会に出ても苦難の生活が続く。オトンはマイペース、その存在はスパイシーでスモーキーである。都会で表現者としての生活とそれを支える友人関係そして、人が大好き料理上手のオカン。

これから後は語らない方がいいでしょう。是非、一読してみてください。

.....

.....

もっとも身近な人の死。突然突きつけられる人生の無常。だから、

より良く生きることを考えたい。

あちこち問題を抱えながらも、元気でいてくれる私の父母。

今、できる事を真剣に考えたいと思いました。



『東京タワー』

出版社：扶桑社
発行日：2005年06月
価格：1,575円(税込)



感染症ネットワーク —世間はせまくて不平等—

中下医院
院長 中下 英之助

インターネットの普及に伴いネットワークの科学が注目されています。社会生活では地域を中心として各種の人間関係によりつながったネットワークを形成しています。このネットワークを通して日々の生活情報からはじまり、仕事、異性関係、お金、感染症、人のうわさ、口コミまで日々の営みに関する情報が流れています。米子ホスピタウンでは医療と福祉のネットワークを目指しており、訪問看護ステーション・ネットワーク、認知症のケアネットワークがあります。最近では少子高齢化社会の助け愛を目的にボランティア、NPO を中心にがいなネットが設立されています。そして現実のネットワークは従来考えられたよりはるかに複雑ですが、感染症（伝染病）においても数年前に世界を駆け巡った SARS とじわじわと広がりを見せる性感染症があり、感染ネットワークの形は大きく違います。

旅先で偶然に知人や旧友、以前の同僚などとお会いする機会があり、また初対面の人と郷里や知人を介しての共通の話題で盛り上がるなど、『世間はせまい』ということが日常生活で誰もがしばしば体験します。お昼の民放に、友達の友達は皆友達だ、ではじまる芸能人の友達の輪が示すように、日本人の誰もが各自のネットワークを持っており、おおよそ 6 人の知人を介して到達が可能であり、『六人の隔たり』という言葉が生まれました。現実の人間関係ネットワークは、地域社会における仕事関係、友人、知人との内輪付き合いと、年賀状やたまに出会い、挨拶程度の弱いつながりの知り合いが成り立っています。近年の IT や高速交通機関の発達により遠くに住んでいる知人との距離も近くなっています。

数年前登場した SARS は感染力が強力で、唾液などの飛沫感染で伝わります。中国南部ではじまり近隣の国際都市香港に到達すると、飛行機や高速鉄道網に乗って、短期間の内に北京や、東南アジア、北米大陸のカナダなどに広がりました。この感染ネットワークは『世間はせまい』と実感するような人間関係と、発症前に短期間で世界各地に行ける交通網の発達により世界はせまくなり、感染症の脅威は増加しています。

経済白書等で国民所得が公表されますが、半数以上の人自分がそんなに貰っておらず、自分は平均以下と感ずります。所得や年棒の分布が釣鐘型の正規分布になっておらず、大半のお金は一握りの裕福な人のものとなり、国民の大多数はわずかばかりの収入にすぎないという、ピークがなくて緩やかに減少する『不平等』に満ちた分布を示します。80%のお金は、人口の 20% の人々のものになります。この経験則は 80 対 20 の法則とよばれ、同様に離婚の 80% は 20% の人で占める（同一人が離婚を繰り返す）、土地の値段、都市の規模、会社の規模など社会のいたるところで見られます。

AIDS、淋病、クラミジアなどの性感染症は感染力も弱く、撲滅されても不思議ではないのに、現在も感染者数は増加しています。男女関係では、モテる人とモテない人がいるように誰もが平等ではなく、ごく少数ですが同時に多くの性的パートナーを持ち、あるいは相手が次々と変わるという性行動の活発な人（ハブ、コア）がおります。ひとたび不平等さのある性的ネットワークでハブが感染すると次々に周りの多くの人に感染させて、性感染症の蔓延、流行が生じます。

東京では電力網の送電線切断による大停電が発生し、インターネットではウイルスが氾濫しており、日常生活ネットワークを通して感染症は広がります。日常社会に複雑に入り組んだネットワークを見つめ直すよい機会だと思います。

米子ホスピタウン 夏祭り 8月5日(土)

8月5日(土)米子ホスピタウン ゆうとびあ広場にて毎年恒例の夏祭りが開催されました。理事長が先導するおみこしが登場し、夏祭りのはじまり!

河崎の方々による御建花笠踊り♪、やる気で音頭♪で会場は一気に盛り上がりました!!



職員によるソーラン節♪毎日練習しました。

御建の花笠踊り好評でした



「ビールにジュースいかがですか〜(^0^)/」

「おみこし、ワッショイ!ワッショイ!」

弓浜ホスピタウン 地域福祉 交流夏祭り 8月26日(土)

8月26日(土)に米子市大崎の弓浜ホスピタウンにて地域福祉交流夏祭りが開催されました。この夏祭りは地域の皆様のご協力とご参加により運営されています。

かわいいダンス、きれいな踊り、迫力満点の太鼓、すきな歌声など地域からたくさんの方の余興にもご協力いただき、会場も大盛り上がりでした♪♪



崎津銭太鼓同好会リトルスターズの皆さん



みんなで「ハイッ、チーズ!」



ふる里音頭を踊りました♪



ケアプランセンター 弓浜真誠会

私たちはこんな業務を行っています!



ケアプランセンター弓浜真誠会

- ① ご利用者または、ご家族からの相談に応じ、総合的にご利用者に必要なサービスの提供を主治医や提供事業者と連絡をとりながら調整を致します。
- ② 要介護認定の申請や必要手続き等を要介護者またはご家族に代わって行います。
- ③ 福祉・保健・医療の各専門職が集まり、カンファレンスを行い、要介護者等の心身の状況に応じた適切な居宅サービス計画(ケアプラン)を作成致します。

ご利用者様は勿論、そのご家族の介護に対するご意向も十分に伺い、プランに反映することを心掛け担当させていただきます。

注) 業務上知り得たご利用者様、またはご家族の方の秘密を漏らすことはありません。



居宅介護支援事業所真誠会も力を合わせてがんばっていま〜す (^ ^) /

連絡先…ケアプランセンター弓浜真誠会(弓浜ホスピタウン内) TEL 0859-48-2335

小田理事長 講演会 報告



【講演予告】

小田理事長は、平成 18 年 10 月 30 日（月）14:00~15:30 には米子市文化ホールにて、「米子人生大学」の講演が予定されております。テーマは「地域で支え合う少子高齢社会」です。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

平成 18 年度米子市民生児童委員協議会 第 3 ブロック研修会 講演「助けあいで作るまちづくり」

平成 18 年 8 月 26 日（土）、ホールサムインかいけにて福生東・西、福米東・西民生児童委員の皆さんの総会にて講演を行いました。その際、即席で♪福生・福米音頭♪を出席の皆さんと一緒に歌いました。皆さんもお腹から大きな声を出して歌われ、楽しい講演会になりました。



第 25 回全国大会・鳥取 高齢社会をよくする女性の会 演題「介護保険制度改定の津波に翻弄される高齢者」

平成 18 年 9 月 9 日（土）・9 月 10 日（日）、鳥取県立倉吉未来中心にて「第 25 回全国大会・鳥取 高齢社会をよくする女性の会」が開催されました。その分科会において、小田貢理事長がパネリストとして選ばれ発表を行いました。

【講演要旨】

平成 12 年に施行された介護保険制度は、それまでの高齢者社会を一変させた。

次々にできる豊かな施設に入り、豊かな扱いであった。ところが、介護保険は改定を重ね、平成 18 年 4 月より事態は一変した。日本の国家財政危機の余波をうけ、今後更に高齢者が増加する社会の危機を乗り越える為に、手厚い介護から、薄く広くというイメージの介護保険制度となった。今まで、施設頼りであった高齢者に対して、出来る限り極限まで在宅で生活するという「自助自立」の概念の展開であったが、日本の国民にはそれに対する心の備えが少なく、社会制度の面からも、欧米ほど高齢者が在宅で安心して生活できるソフト、ハードは整備されていない。しかし、現実的には医療福祉の予算は今後更に削減されていく。今回は、そのような激動の社会の動き、介護保険制度の変革に翻弄される高齢者の実態、およびこれからの制度、社会に望まれることについて発表する。





真誠会防犯パトロール、緊急連絡協力車出発式 (弓浜ホスピタウン)

平成 18 年 6 月 23 日 (金)、弓浜ホスピタウン (大崎) にて真誠会防犯パトロール、緊急連絡協力車の出発式が行われました。

米子市長 野坂康夫様、米子警察署 署長 井藤稔様、境港警察署 副署長 檀床善則様の出席があり、祝辞のお言葉をいただきました。

また、弓浜地区の公民館長、自治連合会長も出席され、盛大な出発式となりました。

真誠会では、業務用車輛 55 台を「防犯パトロール、緊急連絡協力車」としてステッカーをつけて走ることにしました。

これらの業務用車輛 (その多くは利用者の送迎車輛) のスタッフを含む携帯電話約 100 台および真誠会グループ全体のパソコン 126 台に一斉緊急メールを出せるようにしました。この携帯緊急メール発信システムは、米子市の「安心安全情報ネットワーク」と直接つながっており自動的に真誠会の約 100 台の携帯電話、約 120 台のパソコンに配信できるようになります。



米子市長、米子境港両警察署長と行われたテープカット



緊急連絡協力車出発 (通所車両)

利用者の送迎車輛は朝夕ひっきりなしに弓浜半島の隅々まで走っております。特に子どもの事故が多い登下校の時間帯に利用者を送って行くので、子どもの安全に関しても効果的だと思います。送迎の車輛は利用者の自宅まで行くためにタクシーやパトカーが入らないような狭い路地にも入って行きます。そのために子どもに異常な事態があることが真誠会に連絡が入れば一斉に送迎者に連絡が出来ます。必要なら参考写真を送信することも可能です。もちろん最近多い高齢者の徘徊、あるいは道に迷った人に対しても注意の目を向けることが出来ます。

実際、運用開始後、早速在宅から行方がわからなくなったご利用者の捜索でこのシステムにより 1 時間後には発見の連絡が入りました。またその後も施設で行方がわからなくなった時、一斉メールの発信により瞬時に職員へ連絡が入り、早期に発見されました。

今後も米子市とも連携して行方不明高齢者の捜索などの協力を行っていきます。



医療法人・社会福祉法人 真誠会 小田理事長



野坂康夫 米子市長



井藤 稔 米子警察署長



檀床善則 境港警察副署長

米子・弓浜ホスピタウンへ施設見学にお越しになった皆さま

| | | | | |
|---------|----------|-----------------------------|------|-------------|
| 平成 18 年 | 5 月 11 日 | 鳥取大学医学部保健学科の学生さん | 22 名 | 米子ホスピタウン |
| | 5 月 19 日 | 夜見地区民生委員の皆さま | 8 名 | 米子ホスピタウン |
| | 5 月 25 日 | 大篠津コスモスの会の皆さま | 10 名 | 米子ホスピタウン |
| | 6 月 15 日 | 小規模多機能センター-真誠会ふる里 連絡協議会の皆さま | 10 名 | 米子ホスピタウン |
| | 7 月 27 日 | 福米地区民生委員の皆さま | 26 名 | 米子ホスピタウン |
| | 8 月 11 日 | 米子公共職業安定所 精神障害者 ジョブガイダンス | 6 名 | 弓浜ホスピタウン |
| | 9 月 6 日 | 伯耆町岸本・溝口赤十字奉仕団の皆さま | 28 名 | 米子・弓浜ホスピタウン |
| | 9 月 27 日 | 淀江婦人会の皆さま | 15 名 | 弓浜ホスピタウン |



真誠会の施設見学をご希望の方は、右記の連絡先までご慮なくお申し付け下さいませ。スタッフ一同お待ちしております！

..... 連絡先
米子ホスピタウン (本部) TEL 0859-24-5666

医療福祉 ホスピタウンネットワーク



ホスピタウン

医療福祉のまち

米子ホスピタウン

- ・真誠会セントラルクリニック(医)29-0099
- ・透析施設オアシス(医)29-1997
- ・通所リハビリテーション真誠会(医)24-6030
- ・介護老人保健施設 ゆうとぴあ(医)24-5666
- ・短期入所療養介護 ゆうとぴあ(医)24-5666
- ・通所リハビリテーション ゆうとぴあ(医)24-5666
- ・訪問看護ステーションネットケア(医)24-6777
- ・居宅介護支援事業所真誠会(医)48-0300
- ・脳活性クラブ米子真誠会(医)24-5984
(童謡の里 オルゴール館)

ホスピタウングループ本部 〒683-0852 米子市河崎581-3 TEL 24-5666



ホスピタウン

いえはら 歯科

9:00~12:30/2:30~6:30 TEL29-6599



ホスピタウン

辻田耳鼻咽喉科

9:00~12:30/2:30~6:00 TEL29-1187



ホスピタウン

泌尿器科・皮膚科 中下医院

9:00~12:30/2:30~6:00 TEL24-1727



ホスピタウン

助け合いのまち

小規模多機能センター 真誠会ふる里

〒683-0102 米子市和町1722番地 TEL 25-1112



ホスピタウン

保健福祉のまち

ぎゅうひん

弓浜ホスピタウン

- ・介護老人福祉施設 ピースポート(社)48-2332
- ・短期入所生活介護 ピースポート(社)48-2332
- ・介護老人保健施設 弓浜ゆうとぴあ(医)48-2334
- ・短期入所療養介護 弓浜ゆうとぴあ(医)48-2334
- ・通所リハビリテーション 弓浜ゆうとぴあ(医)48-2334
- ・通所介護 弓浜ゆうとぴあ(社)48-2337
- ・通所介護 弓浜ゆうとぴあ(認知症対応型)
(ふくろうの里)
- ・認知症専門通所介護 弓浜脳活性クラブ(医)48-2339
(若竹庵)
- ・訪問介護 弓浜真誠会(社)48-2336
- ・米子市美保地域包括支援センター 48-2330
- ・ケアプランセンター 弓浜真誠会(社)48-2335
- ・ケアハウス リバーサイド(社)48-2630
〒683-0104 米子市大崎1511番地1 TEL48-2331(代)

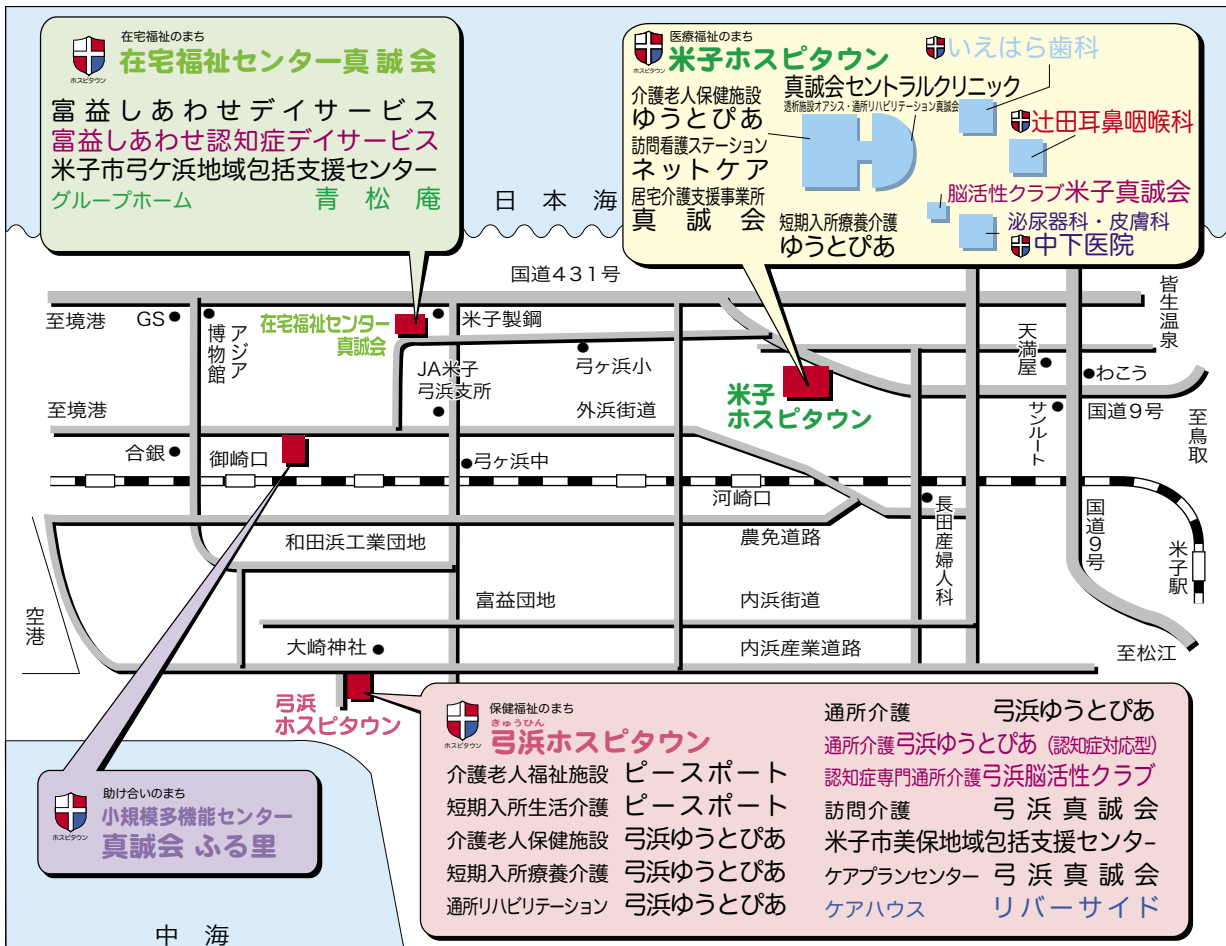


ホスピタウン

在宅福祉のまち

在宅福祉センター 真誠会

- ・富益しあわせデイサービス米子真誠会(社)25-6811
- ・富益しあわせ認知症デイサービス米子真誠会(社)25-6811
(ダンスダンス)
- ・米子市弓ヶ浜地域包括支援センター 25-6800
- ・グループホーム 青松庵(社)25-6813
〒683-0103 米子市富益町235番地8 TEL25-6811(代)



在宅福祉のまち
ホスピタウン

在宅福祉センター 真誠会

富益しあわせデイサービス
富益しあわせ認知症デイサービス
米子市弓ヶ浜地域包括支援センター
グループホーム 青松庵

医療福祉のまち
ホスピタウン

米子ホスピタウン

真誠会セントラルクリニック
介護老人保健施設 ゆうとぴあ
訪問看護ステーション ネットケア
居宅介護支援事業所 真誠会
短期入所療養介護 ゆうとぴあ

いえはら 歯科
辻田耳鼻咽喉科
脳活性クラブ米子真誠会
泌尿器科・皮膚科
中下医院

助け合いのまち
ホスピタウン

小規模多機能センター 真誠会ふる里

保健福祉のまち
ホスピタウン

弓浜ホスピタウン

介護老人福祉施設 ピースポート
短期入所生活介護 ピースポート
介護老人保健施設 弓浜ゆうとぴあ
短期入所療養介護 弓浜ゆうとぴあ
通所リハビリテーション 弓浜ゆうとぴあ

通所介護 弓浜ゆうとぴあ
通所介護 弓浜ゆうとぴあ(認知症対応型)
認知症専門通所介護 弓浜脳活性クラブ
訪問介護 弓浜真誠会
米子市美保地域包括支援センター
ケアプランセンター 弓浜真誠会
ケアハウス リバーサイド